

IPCC 報告書連携シンポジウム

参加無料  
事前登録制

登録締切

4/21[木]  
まで

# 気候変動の影響は どうなる？ どう対応する？

～IPCC 第6次報告書と日本の研究報告～

2022年

4月26日 火

13:00 ~ 17:00

オンライン開催

〈zoom と YouTube を併用〉

開催案内、参加申込みは  
下記のウェブサイトをご覧ください。  
<https://s-18ccap.jp/information/post-1083/>



## 開催趣旨

「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC) は第6次報告書の公表を始めました。昨年8月の第1作業部会報告に続き、今年は、第2、第3作業部会報告書、さらに統合報告書が公表されます。今後の気候変動の見通しやカーボンニュートラルと適応策の効果、気候変動に強靱な社会のあり方といった幅広い論点を網羅する内容です。同時に、国内でも気候変動の影響と対応策に関する研究が進んでいます。本シンポジウムでは、IPCC 最新報告書のポイントと影響と対応策を中心にした国内の研究成果について、IPCC 報告書の執筆者と現場の研究を担う研究者が分かりやすくお伝えします。



## プログラム

13:00

開会挨拶  
趣旨説明

環境省  
三村信男 (茨城大学)

13:20

### 第1部 IPCC 第6次報告書の概要

WGI 報告書の概要

WGI 7章 LA 渡部雅浩 (東京大学)

WGII 報告書の概要 1 / 気候変動の影響とリスク

WGII 5章 CLA、SPM LA 長谷川利弘 (農研機構)

WGII 報告書の概要 2 / 気候変動への適応と

Climate Resilient Development

WGII 4章 LA、SPM LA 平林由希子 (芝浦工業大学)

WGIII 報告書の概要

WGIII 3章 LA 長谷川知子 (立命館大学)

※SPM は作業部会 (WG) 毎の「政策決定者向け要約」  
質疑応答

14:55

休憩

15:10

### 第2部 日本への影響と適応策

自然災害・水資源分野の影響予測と適応策

横木裕宗 (茨城大学)

農林水産業への影響と適応策

西森基貴 (農研機構)

都市計画・まちづくり分野の気候変動適応策

村山頭人 (東京大学)

カーボンニュートラルと気候変動適応

脇岡靖明 (国立環境研究所)

気候変動に耐性のある持続可能な社会の構築

沖 大幹 (東京大学)

質疑応答

17:00

閉会

お問い合わせ先：シンポジウム実施事務局 (勁草書房内) [ipccar6-symposium@keiso-comm.com](mailto:ipccar6-symposium@keiso-comm.com)



環境研究総合推進費  
戦略的研究開発 S-18

環境研究総合推進費プロジェクト2-2002  
環境研究総合推進費プロジェクト2-2005



国立研究開発法人 国立環境研究所  
気候変動適応センター  
Center for Climate Change Adaptation



環境省  
Ministry of the Environment